

SNSで話題! 共感、納得、感動、戸惑い…あなたはどう感じる?

※これは、SNSに投稿されていた『聖なるズー』についてのコメントを、投稿者の許諾を得て転載したものです。

『聖なるズー』のこと考えてると思考の迷路。

アブノーマルを排除するノーマルが一番アブノーマルな気がしてくる。

改めて世界はまだまだ広く、自分はまだまだ小さいと教えてくれた。

人間と動物の対等な関係。ひるがえて人と人は対等なのか。性暴力を受けた著者の、身の危険を感じながら取材し、愛について模索しつづける姿に心をうたれた。愛ってなんだろう。自分は本当にわかっているのかな。

動物性愛者というのを初めて知った。いろんな意味で難しいテーマ。著者の過去とズーたちの思想。動物との関わり方とその歴史。「ビースティ」「ズー・サディスト」と「ズー」の違い。生まれながらのズーとそうでないズー。興味深く読みました!

『聖なるズー』読みました。

共感はできなかったけど、生き物大好きな私は一応理解できました。衝撃的だから読めない人もいるかも(汗)

熱いクヌーデルを食べてみたい。

まだ読み切れてないけどこれは久々にすごい本。

#聖なるズー

自分には到底理解できない。動物がパートナーだなんて。でもなぜかみんな幸せそう。最近読んだ中で一番の本。

この本は動物性愛の本でもあり、性暴力の本質を抉る本でもあり、すごくうまくいった人類学的フィールドワークの体験記でもあるな、と思った。

正直性的なものはフィクション含めあまり得意じゃないし、理解できない部分もあったけれど、彼らが動物を傷つける意図がないことは伝わってきた。愛ってなんだろう。

最近いろんな人におすすめしている濱野ちひろさんの『聖なるズー』。性暴力の被害に遭っていた著者が自分の問題と向き合う方法として大学院への進学を選ぶ行動力を純粋にかっこいいと思ったし、ドイツまで何度も足を運んでフィールドワークするその熱意もすごい。かつ内容が衝撃的。

話題になっているのは知っているが、読む勇気がなくてまだ読んでない。タブーの領域に踏み出すべきか…。

『聖なるズー』って本、教えてもらった。誤解されたりしそうなこと?らしい?まだ日本では認識すらない?とか。「あとは読んでみて(すごいおもしろいし、とても大切なことが書いてある)」って。知らないことだらけ。読む。

冒頭のシーンに一瞬ひるんだけど読んでいくうちに思わず泣いたり、考えこんでしまったり。最後はなぜかあたたかい気持ちになった。動物性愛者に関しては今も理解できてはいないけれど知ることが大事だと思った。

『聖なるズー』、自分の中で「こうじゃないかな」って憶測でしかない偏見を揺さぶって瓦解させてくれる良い本だった。大層面白かった

最終的に拒絶感を抱くことになっても、まず知ろうとすることが大事だと再確認した。

衝撃的な話なのですが、この話の本質は「愛」とは何なのかを考える事にあります。素晴らしい本なので誤解無いように広まりますように。

友人が『聖なるズー』買ってんだけど私が話したからか…?

ダイバーシティやLGBTがメディアで取り上げられることも多い昨今、是非読んでもらいたい一冊です。

性暴力を受けた経験のある著者がズーフィリアの人々を取材したノンフィクションなんだけど、関係性や対等性の話が中心にあるので、セクシュアリティや合意とかそういうのに関心がある人も読んでみたらいいと思う

お昼休みに読み始めた『聖なるズー』が早くもぶっ刺さっており動悸がすごいです